結 ゆいっこ 盛岡新聞
ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO
vol.3 発行日／2011.7.31
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

活動報告

東京発ボランティアバスツアー「宮古市ボランティア活動と自然エネルギー体験@森と風のがっこう」

◉レポート／細田

1人でも多くの方に被災地の現状を見て、感じて頂き、みんなで被災地を長く支援していくことができたら…という想いから企画した、東京からのツアー。第一弾となった今回のツアーは、通常のボランティアツアーにプラスして、非常に関心の高まっている自然エネルギーについて体験し、学び、話す機会を作りたいと考えました。

※岩手県葛巻町ある「森と風のがっこう」は自然エネルギー教育、エコロジカルな生活教育の場として循環型の暮らしができる施設づくりを進めている、廃校を再利用した施設です。

★『宮古市清掃ボランティア』と『自然エネルギーの体験』

まずはツアー初日、朝八時。ツアーの皆さんのバス、ゆいっこ盛岡のバスがそれぞれ宮古市ボランティアセンターに到着。この日は110人を超えるボランティアの方々が集まっていて、とても混み合っていました。皆さん、疲れているかと思いきや気合い十分。110人みんなでラジオ体操をし、とても気持ちの良いスタートとなりました。

その後、バスに再度乗り込み、持ち場である宮古市金浜の2地割へ。宮古の海沿いにある入浴施設マースの近くです。バスで移動しながら被災地の現在の状況を目の当たりにしました。

この日、私達ゆいっこツアーチームの担当になってくださった地元ボランティアの「ロン毛のちばさん」。明快&軽快なトークで私たちの心をわし掴みでした。個性豊かな宮古ボランティアの皆さまのおかげで、沢山元気を頂きました。

打ち合わせ後、すぐに側溝清掃開始。ツアー参加者の方には経験者もいらっしゃいましたが、とても初めてとは思えない仕事ぶりで、なんと、1日で終わるはずの作業が午前中で終わってしまいました。

そして昼食は宮古のお母さん、岩間さんが作ってくださった美味しいおにぎり弁当をみんなで広げつ

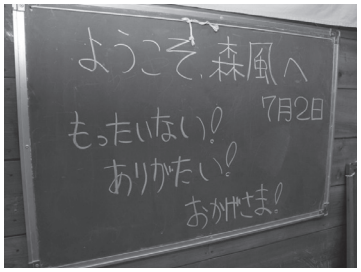
◀▲初めての人も最初は戸惑っていましたが、見よう見まねであっという間に馴染んでいました！

▲全ての清掃活動終了後。海をバックに参加者全員での「よくできました！」の記念撮影。汗まみれですが、達成感にいい顔してます。

つ、自己紹介タイム。短い挨拶の中にも、みなさんの人柄がにじみでててとても楽しいツアーになる予感がしました。

午後は鍬ヶ崎地区へ移動。こちらでの作業もきっちり終えることができ、バスは一路、「ミルクとワインと自然エネルギーの町、葛巻町」へ。

森と風のがっこうです。こちらのパンフレットの表紙に「知識だけじゃわからない　やってみればわかるエコロジカルな暮らし方を提案します」まさにその通りだと思いました。



その日の夕飯メニューはカレーライス。みんなお腹が空いていて、何度もおかわりしていました。いつも宮古でお世話になっている須賀原さんから、宮古のお酒「男山」の「復活」を差し入れに頂きました。貴重なお酒を味わ

▲森と風のがっこう、吉成さんも加わって宮古の酒「男山」復活を飲ませて頂きました。この有意義な時間は深夜まで続いたそうです…。

いながら、震災のコト、ボランティア活動のコト、自然エネルギーのコト、仕事のコト、恋愛のコト…、など出会ったばかりなのに、とても話が弾みました。大学の先生や、会社の環境部門の方、東大の大学院生の方、次週からアメリカ留学に行く方など様々な目線から1つの事を話合いました。年齢や職業の垣根を越えて、まさにざっくばらんで、このツアーは交流のきっかけであり、人や土地をつなげるきっかけなんだ!!と改めて実感しました。この日は、次の日の朝の仕事を自主的に決めてから就寝しました。「薪割り・かまどでご飯炊き」、「犬の散歩と畑仕事」、「朝食つくる」、の3つのチームです。ちなみにこの日、男女別の部屋に寝たわけですが、女性チームはエコキャビンという、自然エネルギーだけで滞在できる施設に宿泊することができました。

▲正面が廃校を利用した施設。この中にコンポストトイレがあります。
左は森のキッチン。ここでは野外クッキングが楽しめます。

▲朝一番にご飯の係りになった皆さん。火のかげんを気にしながら今か今かと炊きあがりを待ち構えます！

さて岩手での2日目の朝は、皆さん、意外にもとても早起きでした。がっこうの裏手には森が広がっていて、ハンモックやツリーハウスがあり、思い思いに時間を過ごすことができます。朝ごはんの準備では、ほとんどの方が薪割り初心者だったため、へっぴり腰でなかなか薪を割ることができませんでした。人のを見るのは楽しいのですが、いざ自分だとなかなかできない…、そんな作業でしたが、その薪を使って「森のキッチン」（屋外にあるキッチン）でご飯を炊きました。残念ながらお焦げを作ることはできませんでしたが、ふっくらしてとても美味しいご飯ができました。朝食作り班も頑張ってくれ、おかずの品数も多く、ご飯が進みました。なにより、労働の後のご飯はとてもおいしかったです。

後片付け後、cafe森風でコーヒーや紅茶を頂きました。地元で手に入る素材、廃材にこだわり、多くのボランティアの方々と一緒に作ったというこのカフェは、とっても素敵で居心地がよかったです。その日宮古から来て頂いた須賀原さんに、資料を使いながら震災直後の被害の様子などの体験をこの場で教えて頂きました。

▲こちらも朝の仕事の一つ薪割り。難しいけど癖になる！？面白さがあります。

その後、研修。理事長の吉成さんが主に行ってくださいました。自然エネルギーのことはもちろん、施設の成り立ちや、今まで行ってきた取り組みに関して、直接聞くことができました。ここには太陽光、風力、バイオマスなどの発電を見たり実際体験することができる貴重な施設です。　実際、自分たちでできる小さなモデルを体験することが、私たちの今の生活に最も取り入れやすい形だと思いました。施設の1つ1つを丁寧に案内してくださいました。実際東京からツアーに参加されてる方の中にも、東京から離れなくともできる取り組みはないか?などの質問もでていました。吉成さんがおっしゃってた言葉で「エネルギーに合わせて、生活レベルをおとす」という言葉がありました。とても心に残る言葉でした。夏は最長で19泊20日の子どもたちの為の合宿も行っていたそうです。子どものあるべき姿を思い出させてくれる、自然や人とのふれあいを学び直すそんな企画が今年の夏もあるようです。是非、一度行ってみて、子ども達と一緒に自然やそこからつくられるエネルギーを体験して頂きたいです。私たちも、もっと体験しにまた必ず訪れたいと思いました。

▲がっこうの講堂にて。吉成さんのお話に聞く側も熱が入ります。自分の生活に置き換えてできることを一人一人が考える場になりました。

その後、葛巻高原牧場に移動し、BBQ。葛巻高原牛という世には出回っていない、ほぼここでしか食すことのできないお肉を頂きました。大変おいしかったです。早く放射能の問題が解決し、また県産牛を全国の方々に味わって頂ける機会が増えればと思います。

そして最後、皆さんとのお別れのとき。高原の芝生に皆で腰をおろし、円陣を組んで一言づつ頂きました。お礼や励ましの言葉を沢山頂いて、私達スタッフは何度泣きそうになったことか…。またボランティアやツアーに参加したい、とおっしゃった方が何人もいらっしゃいました。生活する場所が違っても、今回こうして岩手にボランティアにきてくださったつながりで、有意義な時間を共有することができました。明日の日本、そして被災地を考え、一人ではなく、自分が考えてることを人と共有する場の大切さをしりました。

今は初めてのツアーで不備が多く、ご迷惑も多数おかけしたこと思います。今回参加してくださった方々に、心から感謝し、また再会できるときにはそれからのお話をできればと思います。また、葛巻町に関しましては全国から注目されている自然エネルギーを推奨している町です。今後また、形をかえツアー企画として続けていきたいと思っております。

皆様、本当にお疲れ様でした。そして次回のツアー乞うご期待。

活動報告

日用品・古着の無料バザー、喪服の無料バザー@宮古市磯鶏小学校体育館　途中経過報告

◉レポート／長谷川

募集開始以降、本当にありがたいことに全国各地からたくさんの物資が届いています。その中には提供者の方からのお手紙が同封されていることも少なくありません。集まった声の一部をご紹介したいと思います。

★

「がんばって下さいとはよう言いませんが、一歩一歩の歩みに少しでもお役に立てるのであれば幸いです。」

「この度のことには言葉を失い、ただ祈るのみです。心はいつも皆様と共にあります。」

「必要とされているのに十分に足る量は送れないのですが、おばあちゃんが孫子のために求めるような気持ちで集めました。」

「ニュースを見るたび、切なく悲しい気持ちになりますが、前を向いて努力されている方々の姿には、逆に元気をもらっています。」

「この線香の一本で、哀しみの中にいる方々が少しでも前を向いて一歩でも踏み出すことが出来ます様にと、心から願っております。」

「岩手県大好きです。」

★

こういった被災者の方々へのメッセージと共に、私たちゆいっこメンバーへのねぎらいや体調を気遣う言葉も寄せられております。遠く離れた地から支援してくださる皆さんの気持ちをしっかり現地へ届けるのも私たちの大切な役目。お手紙を読みながら、改めて気持ちを引き締める毎日です。

会議報告

ネットワーク会議　◉レポート／藤原

7月9日、第2回ゆいっこネットワーク会議がありました。ネットワーク会議は、各ゆいっこ支部（北上、花巻、雫石、西和賀、横浜、岩見沢、大槌、盛岡）の活動報告をしながら、お互いの活動方針や考え方を学び、横のつながりを強固なものへとし、よりスムーズな連携をとっていこう、と毎月開催しているものです。今回はアイーナにて、ゆいっこ花巻から高橋さん、北上からゆいさん、盛岡から細田と藤原の計4名で、会議を進めていきました。各支部の1ヶ月間の活動内容と、今後のながれについて、簡単にご報告させて頂きます。

★ゆいっこ花巻

この1ヶ月間は傾聴、図書館整理、花&野菜苗のお届け、EM菌の散布による環境の浄化、といった幅広い活動をしてきた。今後は、首都圏と地方を繋げていきたいと考えている。その一つとして、花巻版のボランティアツアーを計画していきたい、との事。

★ゆいっこ北上

7月2日、3日にイベント「架け橋」を開催。ニューヨークでの支援の様子を、大船渡、陸前高田の方々にお伝えしようというもの。また今後は、チャリティーコンサートの開催、被災地キャンプ、お盆のための企画、などイベントを通して沿岸に目を向けるきっかけを作っていきたいと事。

★ゆいっこ盛岡

主に清掃がメインの活動。7月1日～3日には、ゆいっこ盛岡初のボランティアツアー（from東京）を決行。今後は、バザーの開催、9月中旬に2度目のボランティアツアー、といった活動をしていく。また、清掃活動から仮設でのボランティア活動にシフトしていきたい、と考えております。

このように各支部ともに、地元のニーズに合わせながら、バラエティーに富んだ活動をしており、今後の目標もみえてきました。また、自分たちの活動に活かせる点も多々あり、これが相乗効果となり、ゆいっこの活動の質を高めていければと思います。次回のネットワーク会議での各地区の活動報告、また自分たちの今後の活動の広がりが、今からとても楽しみです。

全体会議　◉レポート／長谷川J

6月26日（日）、『いわてゆいっこ盛岡・第3回全体会議』を、岩手県公会堂にて行いました。今後も、月に一度（第4日曜日）を全体会議の日とし、開催していく予定です。活動報告、今後の活動内容の確認とともに、ボランティアさん同士の交流も兼ねております。

今回の会議の内容は…

★代表挨拶

★各担当者より活動報告

★今後の活動の方向性について

私達の活動のメインとなっている清掃活動の危険性（熱中症、細菌類、放射能など）を考慮し、今後どのような形で進めていくか、KJ法を取り入れた話し合いをしました。A.B.C班のグループに分かれ、ブレインストーミングしながら、具体的な活動案を模索。

A班／交流を主軸に傾聴と飲食を交えてのふれあい、集いの場を作る、など。

B班／交流を主軸にマッサージや公衆浴場の設置。冬に向けての準備（高田松原の薪購入）など。

C班／交流を主軸にプロによる傾聴。プロの方と現地の方のマッチング、段階的な交流など。

やはり、現地の方々の意見や想いを汲み取りつつ私たちが何ができるか、という点は共通のもので、今後の具体策につながる意見ばかりでした。日頃、みなさまがボランティア活動を通して感じていらっしゃることなどを意見交換でき、とても有意義な時間となりました。

地域のつながり、地域へ戻す支援、がキーワードです。7月～8月は勉強会などの機会を設け、活動の整理をし、9月から仮設住宅に付随した活動展開を考えております。

▲ KJ 法で今後の活動について意見を出し合いました

喪服・日用品無料バザーへの ご支援ありがとうございます

7月30日、31日に行う、「喪服・日用品無料バザー」への支援金、物資の募集を、7月28日で締め切らせていただきました。皆様のご支援、本当にありがとうございました。「ゆいっこ盛岡新聞」2号でもお伝えしましたが、あらためてご支援の報告をさせていただきます。

支援金

【喪服用支援金総合計(7/28現在)】¥38,000

【喪服用支援金をいただいた方(全員)】

小原様、石田様、岩手県／八重樫様、岩手県／藤原様

支援物資

【喪服・日用品無料バザー用支援物資をいただいた方(全員)】

匿名の方5名、東京都／白鳥様、岩手県／臼崎様、七木田様、東京都／遠藤様、神奈川県／姫野様、北海道／小林様、東京都／内藤様、神奈川県／三国様、東京都／小笠原、山口県／芹澤様、大船渡市／熊谷様、神奈川県／青木様、北海道／S・H様、東京都／板橋、岩手県／大金様、東京都／黒沢様、東京都／石井様、熊本県／前田様、神奈川県／山見坂、東京都／佐藤様、埼玉県／山口様、埼玉県／小林様、埼玉県／橋本様、東京都／倉持様、埼玉県／赤羽様・相川様・小山様・影山様・和田様・土田夫妻様・石川様・竹内様・安本様・柄谷様＆ご友人・高橋様、岩手県／工藤様、東京都／佐藤様、東京都／増田様、千葉県／鮎川様、千葉県／松田様、神奈川県／神崎様、宮城県／井田様、埼玉県／高橋様、東京都／大間様・高木様・高澤様・山本様・佐藤様・味澤様、神奈川県／(株)田中商事 石関様、栃木県／日向様、京都府／御香・蝋燭財木屋 日向様、東京都／ミュラー様、東京都／内田様、北海道／徳平様、東京都／馬場様、東京都／上田様、神奈川県／宮本様、東京都／小林さま、神奈川県／塚越様、岩手県／三田村様、宮城県／草岡様、埼玉県／橋本、東京都／景山様、岩手県／野坂様、岩手県／竹花様、岩手県／三浦様、岩手県／深澤様、茨城県／久保田様、茨城県／穴吹様、茨城県／内藤様、東京都／井上様、神奈川県／逢坂様、東京都／高橋様、東京都／大芦様、山口県／芹澤様、東京都／稲田様、東京都／佐野様、岩手県／白築様、東京都／板倉、東京都／神屋敷様、岩手県／吉田様、長野県／中島様、岩手県／S・T様、東京都／合田様、千葉県／真鍋様、千葉県／金子様、東京都／海老原様、神奈川県／斉藤様、神奈川県／若林、岩手県／北良(株)メディカルセンター笠井様、埼玉県／石井様、千葉県／小磯様、東京都／黒澤様、東京都／重藤様、東京都／久保田様、東京都／結城様、神奈川県／下里様、愛知県／杉本様、愛知県／大和様、岩手県／吉田様、岩手県／佐々木様、宮城県／藤林様、山形県／佐藤様、茨城県／堀様、埼玉県／高橋様、東京都／町田様、東京都／山崎様、神奈川県／甲谷様、神奈川県／沢柳様、愛知県／Ichi様、岐阜県／林様、長野県／小布施様、北海道／菊地様、岩手県／田口様・ご友人ご一同様、岩手県／林様、埼玉県／青木様、埼玉県／矢作様、東京都／新毛様、東京都／神屋敷様、東京都／橘様、東京都／中本様、神奈川県／「34友の輪会」清水様、神奈川県／森様、愛知県／広川様、愛知県／富田、大阪府／神谷様、京都府／木元様、長崎県／広原様、京都府／水原様

通常の支援金もいただきました 本当にありがとうございます

支援金

【通常の支援金合計(6/16~7/28)】¥216,144

【支援金をいただいた方(6/16~7/28)】

スガハラ様、サトウ様、ゆいっこ盛岡メンバーから「ポロシャツ募金」、高木様、愛知県／テニスショップ庭球倶楽部様、岩手県／鈴木様、愛知県／渡邉様、愛知県／テニスクラブロングウッド長久手様、みんなのアコースティックワン様、近藤様、愛知県／樽政本店様

支援金BOXの設置にご協力いただきました

京都市ハーレーダビッドソンンカスタムショップTNT cycle様、志士の会2003−kyoto事務局様

お知らせ

この度、いわてゆいっこ盛岡は、複数の団体からの助成金を受けることができました。これについての詳細なご報告は、次号でさせていただきたいと思います。(現在、財団と用途の調整をしているため)今後もこれまで以上に気を引き締めて活動していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

活動記録(6/16〜7/26)

月	日	活動内容
6月	19日	●清掃ボランティア（宮古市高浜地区） ●物資倉庫整理（宮古市）
7月	1日〜3日	宮古市ボランティア活動と自然エネルギー体験＠森と風のがっこう（ボラバスツアー）
	10日	お寺の清掃ボランティア（宮古市江山寺）
	12日	無料バザー第1回仕分け作業（盛岡市）
	17日	いわてゆいっこ盛岡第3回全体会議（盛岡市アイーナ）
	24日	復興バザー（盛岡市アイーナ）手伝い

支援金募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

岩手銀行　津志田支店　店番／**070 普通預金**
口座番号／**2065288**　口座名義／**ゆいっこ盛岡支部**

※「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりpdfでご覧いただけます。郵送をご希望の方は電話やメールにて事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation